

## 2024年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧&lt;リハビリテーション学科理学療法学専攻&gt;

科目名	単位数	実務経験を活かした当該授業科目への展開
栄養学 (リ)	1	リハビリに取り組むアスリートに対する栄養教育経験のある管理栄養士である教員が、その実務経験を活かして栄養学についての授業を行う。
障害者福祉論 (リ)	1	障害福祉サービス事業を展開している複数の社会福祉法人・特定非営利活動法人の研修講師、オブザーバー、コンサルタントの経験および行政機関から依頼された障害者虐待防止に関する研修講師の経験があり、その実務経験をいかして障害者福祉の理念や法制度について授業を行う。
整形外科学	1	担当者は医療施設において整形外科医として実務経験があり、またスポーツ整形外科、膝関節外科、再生医療を専門としており、その経験を活かして本授業を行う。
小児科学	1	小児科専門医として豊富な臨床経験を持つ
医療安全・感染症学	1	医療機関において内科医師として診療に従事しており、その経験を活かして実践的な医療安全学や感染症学についての授業を行う。
リハビリテーション医学	1	医療機関におけるリハビリテーションの実務経験を有する教員が、臨床場面での知識の活用や実用的な訓練法を含めて講義する。
作業療法学	1	医療機関や福祉施設、特別支援教育の領域において作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして作業療法の実践についての授業を行う。
画像診断学	1	医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして画像診断学についての授業を行う。
医療経済学	1	担当者は医療施設・福祉施設等において作業療法士および部門管理者として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本授業を行う。
運動・応用生理学①	1	臨床医または理学療法士として豊富な臨床経験のある教員により授業を行う。
運動・応用生理学②	1	臨床医または理学療法士として豊富な臨床経験のある教員により授業を行う。
地域・医療連携論	1	病院や施設において理学療法士・作業療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
理学療法研究法	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法研究に関する授業を行う。
理学療法治療技術特論	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を生かした理学療法に関する授業を行う。
スポーツ傷害理学療法学①	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かしてスポーツ外傷・障害に対する理学療法についての授業を行う。
スポーツ傷害理学療法学②	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かしてスポーツ外傷・障害に対する理学療法についての授業を行う。
高齢者理学療法学	1	病院や地域の介護予防事業において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして高齢者を対象とした理学療法の実践に関する授業を行う。
理学療法特論	1	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。
理学療法管理学Ⅰ①	1	急性期および回復期病院にて理学療法士としての実務経験があり、理学療法における管理学について授業を行う。
理学療法管理学Ⅰ②	1	急性期および回復期病院にて理学療法士としての実務経験があり、理学療法における管理学について授業を行う。
理学療法管理学Ⅱ	1	病院でリハビリテーション科管理職として従事したことがあり、その経験を活かして講義を行う。
基礎ゼミナールⅢ (PT)	2	本講義は、理学療法士として臨床での実務経験を有する教員が担当する。
基礎ゼミナールⅣ (PT)	2	本講義は、理学療法士として病院での実務経験を有する教員が担当する。
保健体育 (B)	2	主として小学校において、教諭及び管理職として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、学校現場や児童・生徒の実態や様子も踏まえながら、より具体的な授業を行う。
体育実技 (A)	1	高等専門学校教員、高校・大学トレーナー
体育実技 (B)	1	高等専門学校教員、高校・大学トレーナー
体育実技 (C)	1	高等専門学校教員、高校・大学トレーナー
医療キャリアデザイン① (PT)	1	病院および地域リハビリテーションにおいて理学療法士としての実務経験があり、対象者との関係づくりとキャリア形成について授業を行う。
臨床心理学 (リ)	2	職業リハビリテーション領域での30年間の実務経験を踏まえて現状の限界性と将来への希望を伝えていきます
社会福祉概論 (B)	2	障害者施設や老人福祉施設において組織運営管理者として従事した経験があり、その経験を活かして、具体的な場面を紹介しながら授業をすすめる。
基礎科学概論	2	病院において言語聴覚士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、保健・医療・福祉に必要な物理学の基礎知識についての授業を行う。
健康増進・予防理学療法学演習①	1	過去、大学病院において理学療法士としての業務に従事した経験がある。現在は高齢者の健康増進・予防理学療法に関する研究に従事しており、これらの実務経験を生かして授業を行う。
健康増進・予防理学療法学演習②	1	過去、大学病院において理学療法士としての業務に従事した経験がある。現在は高齢者の健康増進・予防理学療法に関する研究に従事しており、これらの実務経験を生かして授業を行う。

運動学 (PT) ①	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして身体運動のメカニズムに関する授業を行う。
運動学 (PT) ②	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして身体運動のメカニズムに関する授業を行う。
内科学・生活習慣病	2	医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして内科学と生活習慣病についての授業を行う。
神経内科学	1	医療機関において医師として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経内科学についての授業を行う。
高次脳機能障害学演習 (PT・OT)	1	作業療法士免許と臨床の実務経験を有する教員、言語聴覚士免許と臨床の実務経験を有する教員が、学修内容(知識や技能)の臨床場面での活用や応用を含めて講義する。
日常生活動作	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして日常生活動作についての授業を行う。
リハビリテーション概論	2	病院、施設において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かしてリハビリテーション概論についての授業を行う。
薬理学 (リ)	2	病院薬剤師、薬品会社の管理薬剤師の経験あり
基礎解剖学演習 (PT・OT) ③	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
病理学	1	この科目の教員は全て実務経験者である
生活支援技術演習 ②	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして日常生活動作についての授業を行う。
生活支援技術演習 ①	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして日常生活動作についての授業を行う。
理学療法概論 ①	2	一般総合病院における経験や地域理学療法(訪問リハビリテーション、介護老人保健施設等)の経験を活かし理学療法全般の役割や概念について授業を行う。
理学療法概論 ②	2	一般総合病院における経験や地域理学療法(訪問リハビリテーション、介護老人保健施設等)の経験を活かし理学療法全般の役割や概念について授業を行う。
臨床運動学 (PT) ①	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その経験を活かした臨床的な運動学の指導を行う。
臨床運動学 (PT) ②	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その経験を活かした臨床的な運動学の指導を行う。
理学療法評価学Ⅲ(神経学的評価) ①	1	臨床において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経系に障害を有する患者様への検査・測定方法やその意義・目的についての授業を行う。
理学療法評価学Ⅲ(神経学的評価) ②	1	臨床において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして神経系に障害を有する患者様への検査・測定方法やその意義・目的についての授業を行う。
理学療法評価学Ⅳ(画像評価・動作分析の基礎) ①	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして動作分析に関する授業を行う。
理学療法評価学Ⅳ(画像評価・動作分析の基礎) ②	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして動作分析に関する授業を行う。
理学療法臨床学演習Ⅰ(ペーパードラフト)	1	病院等において理学療法士として従事した経験を活かし、理学療法プロセスに関する授業を行う。
運動療法学 ①	1	理学療法士として病院ならびにスポーツ現場に従事した経験を活かし、病態評価ならびに運動療法技術の指導を行う。
運動療法学 ②	1	理学療法士として病院ならびにスポーツ現場に従事した経験を活かし、病態評価ならびに運動療法技術の指導を行う。
物理療法学Ⅰ(基礎) ①	1	病院で理学療法士として従事したことがあり、その経験を活かして講義を行う。
物理療法学Ⅰ(基礎) ②	1	病院で理学療法士として従事したことがあり、その経験を活かして講義を行う。
物理療法学Ⅱ(臨床的応用) ①	1	病院で理学療法士として勤務した経験があり、その経験を活かして物理療法をどのように実施するのかについて授業を行う。
物理療法学Ⅱ(臨床的応用) ②	1	病院で理学療法士として勤務した経験があり、その経験を活かして物理療法をどのように実施するのかについて授業を行う。
義肢装具学 (PT) ①	1	病院等において理学療法士として従事した経験を活かし、疾患に応じた義肢装具の適応を含めた授業を行う。
義肢装具学 (PT) ②	1	病院等において理学療法士として従事した経験を活かし、疾患に応じた義肢装具の適応を含めた授業を行う。
運動器障害理学療法学Ⅰ(基礎) ①	1	整形外科疾患のある患者様に対する臨床経験20年以上ある教員が担当
運動器障害理学療法学Ⅰ(基礎) ②	1	整形外科疾患のある患者様に対する臨床経験20年以上ある教員が担当
運動器障害理学療法学Ⅱ(臨床的応用) ①	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして運動器障害に対する理学療法についての授業を行う。
運動器障害理学療法学Ⅱ(臨床的応用) ②	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして運動器障害に対する理学療法についての授業を行う。
発達障害理学療法学	1	小児専門医療機関において理学療法士として実務に従事した経験があり、その経験を活かして正常発達や発達障害児(者)の理学療法についての授業を行う。

内部障害理学療法Ⅰ（呼吸器疾患）①	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、この実務経験を生かして呼吸理学療法についての授業を行う。
内部障害理学療法Ⅰ（呼吸器疾患）②	1	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、この実務経験を生かして呼吸理学療法についての授業を行う。
内部障害理学療法Ⅱ（心疾患）①	1	・病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして内部障害理学療法Ⅱ（心疾患）についての授業を行う。
内部障害理学療法Ⅱ（心疾患）②	1	・病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして内部障害理学療法Ⅱ（心疾患）についての授業を行う。
代謝疾患・がん理学療法	1	・病院にて理学療法士として内部障害患者の理学療法に従事した経験および内部障害理学療法の教育経験を生かして授業を行う。
理学療法総合演習	1	担当教員は全て病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を生かして検査測定の実務的な技能について講義する。
回復期リハビリテーション学	1	脳卒中専門病院（急性期および回復期病棟）で理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして回復期リハビリテーションにおける理学療法士についての授業を行う。
生活環境学演習①	1	地域理学療法（訪問リハビリテーション、介護老人保健施設等）の実務経験から理学療法における環境整備について授業を行う。
生活環境学演習②	1	地域理学療法（訪問リハビリテーション、介護老人保健施設等）の実務経験から理学療法における環境整備について授業を行う。
生活環境学演習③	1	地域理学療法（訪問リハビリテーション、介護老人保健施設等）の実務経験から理学療法における環境整備について授業を行う。
臨床実習Ⅰ（臨床見学実習）	2	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。実習先では理学療法士実務経験5年以上の実習指導者により実習が遂行される。
神経障害理学療法Ⅰ（基礎）①	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、また現在も週1回は病院業務を行なっている。その経験を活かして脳卒中に対する理学療法について授業を行う。
神経障害理学療法Ⅰ（基礎）②	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、また現在も週1回は病院業務を行なっている。その経験を活かして脳卒中に対する理学療法について授業を行う。
神経障害理学療法Ⅱ（臨床的応用）	1	病院での実務経験を活かして講義を行う。
領域別理学療法演習	1	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法の実践力と応用力を高めるための講義を行う。
地域理学療法Ⅱ	2	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして地域理学療法についての授業を行う。
地域理学療法Ⅰ	2	病院において理学療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして地域理学療法についての授業を行う。
臨床実習Ⅲ（臨床治療実習）PT	13	本科目は、理学療法士として臨床経験を有する教員が担当する。
臨床実習Ⅳ（保健福祉実習）	1	病院および地域リハビリテーションにおける理学療法士としての経験を活かし、技能指導および実習指導を行う
解剖学演習（PT・OT）①	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
解剖学演習（PT・OT）②	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）①	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
基礎解剖学演習（PT・OT）②	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして解剖学に関する授業を行う。
理学療法評価Ⅰ①	2	実務経験豊富な複数の教員で講義、演習を行うため基礎的な技能に加え、臨床的な思考、視点から指導する。
理学療法評価Ⅰ②	2	実務経験豊富な複数の教員で講義、演習を行うため基礎的な技能に加え、臨床的な思考、視点から指導する。
理学療法評価Ⅱ（筋機能）①	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法評価学（特に筋力測定）に関する授業を行う。
理学療法評価Ⅱ（筋機能）②	2	病院において理学療法士として従事した経験があり、その実務経験を活かして理学療法評価学（特に筋力測定）に関する授業を行う。
理学療法臨床学演習Ⅱ（模擬患者）	2	病院、地域リハビリテーションにおいて理学療法士として従事した経験を活かし、理学療法プロセスに関する授業を行う。